BLUE THERMAL 2009 No.7

新格納庫3F写真判定室奥
Office of BLUE THERMAL 2009
今夜の担当：明星大学・荒木信光
関東学院大学・宮本研一郎　立命館大学・上町聡

本日の成績

個人	団体
1位 橘 友輔 500点	1位 法政A 500点
2位 知花 理江子 427点	2位 慶應 427点

総合成績

個人	団体
1位 知花 理江子 1815点	1位 慶應 1815点
2位 橘 友輔 1419点	2位 早稲田A 1563点
3位 中村 知生 1327点	3位 日大8K 1446点
4位 角谷 陽介 1154点	4位 法政A 1419点
5位 重田 心平 1014点	5位 早稲田23 1327点

毎朝行われる、法政の円陣組み。今朝はその中にカメラが入った。大きく開いた各々の口から、その声の大きさもお察し頂けるだろう。法政Dis・橘選手（左手前）は昨日に続き周回達成。

雨のため競技終了、走ってピスト周りの撤収を行う学生役員。

ワンチャンスをモノにした Discus 2機!!

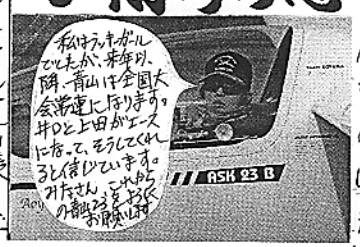
朝のうちは春の陽射しを感じることができた本日であったが、昼ごろから雲り始め肌寒い風も吹いた。背風待機をはさみながら競技が進むも、14時過ぎに雨が降り始めた。14時40分ごろ競技終了が告げられ、午前中の短い時間帯に上がった慶應Discusと法政Discusのみが周回達成という結果になった。「法政Discusに乗って行ったン!! ヒッターが本当に神に見えました。ありがとう！そして内田のくじ運 GOD HAND!!」と慶應Dis・知花選手。その一方法政Dis・橘選手は「チームのために周回しただけです」と謙虚さをキープしている。

名大23、条件爆発

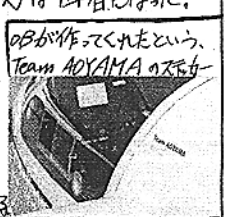
今日の渋い条件の中、名大23からはサーマルが発生していたようだ。名大23・桃井選手の恋人がチームに訪れた。三重から夜行バスでお見え！になり、周囲は羨望の眼差しを向けた。

青山23 8年ぶりの想い

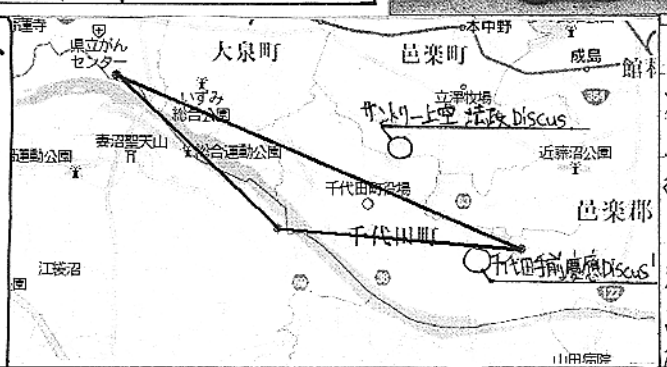
Team AOYAMA
Yoko Tani



今大会出場の並みいるASK23の中、ひときわ美しく濃紺が映えるのは青山23だ。8年ぶりの全国大会出場、谷選手はどんな想いを抱いているのか。入部以来、全国大会に出たいという思いは強かった。しかし初ソロは3年春。その年の夏にハワイでライセンス取得、「書き成」は4年春になった。経歴のため、一番良い時間に複座を占有、同期の K はウンチマン張り付けなど、「部員の理解があって出させてもらえた」と語る彼女の表情には、感謝の意がにじみ出る。2008年原田杯で大会の感触をつかみ、やっと目標だった全国大会へ。「青山23チームOK」のコールを心待ちにしている。



今日のFLIGHT LOG



気になるあの機のパイロット⑥

①貴方のグライダー人生、一言で表すと、②最も苦労したこと③今大会への意気込み④一番のやらかし⑤乗りたい出場機⑥気になる選手⑦卒業後のグライダー活動

日大8K 齋藤啓太選手

① 忍耐
② 部費の支払い
③ 1日1善
④ K.8の胴体の中から外の景色を見えるようにした
⑤ ミニモア
⑥ 関工・山下・浅野
⑦ サーマルを追い求め続ける

木村理恵選手

① いろんな意味でAve +1.0（1度ダウンバーストに出遭う）
② 運営
③ 精一杯楽しみます!!
④ 慶應の目の前で強風時LSでドン着
⑤ ディスカス!! MK
⑥ 日大8K・青山
⑦ 当分θ粘りで、できれば後席

青山弘希選手

① 卒業研究
② 疲労の回復
③ 大会が終って楽しかったと思うことができれば幸せ
④ 教証の降下（クロスコントロール）の練習中、異航機と並んでフライト
⑤ husky
⑥ 法政Discus・橘・清田西（彼の全国大会で負けたから）
⑦ 学生教官→教官